

そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第147号
令和4年 正月号
臨濟宗 宗禪寺
建長寺派
住職 高井和正
閑栖和尚 高井正俊
羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

新しい一年もよろしくお願い致します。

川崎一本木堂薬師

節分追儼 新春祈禱法要

みんなで般若心経を
お読みして疾病退散

2月3日(木) 16時から

・疾病退散
・厄災消除

■ご家庭用の福豆をお持ち帰り下さい ■子供たちには鬼さんからお菓子のプレゼント

川崎一本木薬師堂 節分追儼・新春祈禱法要

●十六時 御詠歌奉詠 新春祈禱法要

皆様に般若心経唱和
薬師堂から豆まき

※本年、お子様の豆まきは行いません。プレゼントをご用意致します。

節分祈禱お札申込
随時受付中

先刻の通り、節分祈禱の
新春お札のお申し込みを随
時受け付けています。当日
ご来山いただくと、儀式終
了後にお渡しいたします。

◆林心耳 絵画・屏風絵展覧会 2月11日(金)から20日(日)

劇団水族館劇場新春野外劇 今年もごぞいます

本年新春も境内にて水族館劇場の新作路上芝居がごぞいます。
予約不要です。お立ち寄り下さい。

「さすらい姉妹 —のざらし姫—」

【日時】1月3日 午後2時～午後3時

楽しかったらお代は見てのお帰りにお気持ちを投げ銭で。

本年5月 宗禅寺第二駐車場 特設舞台にて
『Naufragio 出雲阿国航海記(仮題)』公演決定 乞うご期待



3月11日
東日本大震災

追悼写経会と 羽村で支援托鉢

今年も三月十一日がやってきます。東日本大震災から十一年となります。

お寺では毎月十一日に写経会が行われていますが、今年も三月十一日の写経は、東日本大震災への追悼写経として行います。また、近隣の有志の和尚さんによる托鉢を羽村で行う予定でおります。

当日は午後二時四十六分に合わせまして、写経の皆様と托鉢の和尚さんと一緒に写経をお読み致します。

お経だけのご参加も大丈夫です。皆様とひととき、一緒に手を合わせたいと思います。

■東日本大震災災害支援托鉢(羽村)

三月十一日 午前九時～午後一時半頃

■東日本大震災追悼写経

三月十一日 午後一時～二時半

■東日本大震災追悼法要

三月十一日 午後二時四十六分から



春の文化展開催致します

コロナで休止していましたが春彼岸恒例、宗禅寺の春の文化展を再開するべく現在準備を進めています。

開催日程は左記の通りとなりますが、コロナも新変異種が日本にも上陸し、まだまだ予断を許さぬ状況でもあり、ご参加にあたりましては、ご出品される皆様のご意向を尊重致しまして、今回はご協力いただける方のみで開催したいと考えております。

例年通り事前に準備実行委員会を二回開催致します。関係者の皆様方には別途お葉書にてご案内致します。何卒よろしくお願ひ致します。

■第二十二回 宗禅寺春の文化展

日 程 三日間開催

三月十九日(土)～三月二十一日(月・祝)

※芸術作品を出品して下さる方を随時募集しています。教室単位でのご参加も歓迎致します。お寺にご連絡下さい。

般若札は玄関にお貼り下さい

お正月、檀信徒の方へのそうぜんじ便りにお札を同封しています。般若札といいます。

般若札は般若祈祷法要での読経の善力が込められているお札で、魔除けの効果があるお札です。お家の玄関に貼ること、外から入ってくる悪いモノを退散させると云われています。

般若祈祷は通常正月に執り行うものですが、宗禅寺では正月に皆様のお手元に届くように年末に檀信徒一同皆様の無病息災を祈念して行っています。

昨年までの古いお札はお寺にご持参いただければ、随時お焚き上げを致します。また、節分の古いお札も同様です。

まだまだコロナはありますが、皆様のご健康をお祈りしております。



聴覚を失った五日市の画家

故林心耳さんの 絵画展覧会を行います

二月の三連休からお寺で展覧会を行います。展示する作品は、かつて五日市にて活動をされていきました林心耳さんの絵画になります。

林さんは東京本所に産まれますが、三歳の折、病にて聴覚を失ってしまいます。芸術の道を歩みますが、仏画を中心に数々の作品を残されています。また、俳句も残されています。

今回の展覧会は、ご子息にあたります慶應大学名誉教授の林温先生とのご縁により実現致しました。

聴覚を失い、心の耳で世界と繋がった林心耳さんの作品を是非味わいにお越し下さい。ご来山お待ちしております。

【林心耳さん展覧会】

二月十一日(金)・祝より二十日(日)

※三連休にて行いますが、お寺に常時展示をさせていただけます。何かの折に足を向けていただければ有難いです。

宗禅寺の薬師堂が羽村市内で一番古い建造物の可能性大

去る十月十六日の土曜講座にて、羽村市文化財審議委員会の会長でもある、白井裕泰先生(ものづくり大学名誉教授)が講演下さいました。「羽村の古建築」というテーマでしたが、宗禅寺の境内にある薬師堂に関して、特に絞ってお話しして下さいました。

そのご講演にて、薬師堂内の建築様式の各部(木鼻や虹梁等)の形状や紋様を周辺地域にある同時代に建立された寺社の建造物と比較した上で、「天正十一年(1583年)再建」との伝承が信用に足り得る情報である、とのご見解をいただきました。

羽村市内には東京都の文化財となつている阿蘇神社の本殿や、羽村市文化財の禅福寺さんの山門が一番古いという説が語られてきましたが、いずれの建造物も江戸時代に建立されたものであり、宗禅寺の薬師堂は室町年間の再建ということで、一番古い建造物ということになります。

残念ながら薬師如来の仏像自体は明治時代に盗難に遭っており、室町年間の仏像ではありませんが、地元檀信徒の彫刻師・島田改助さんがご奉仕にて彫つて下さった銘仏であり、薬師堂のお堂とともに、これからも大

切に次の世代の方々へ伝えていきたいと思っております。

お寺とともに、川崎一本木堂のお堂と薬師様を地域の財産としてこれからも継承していくとともに、近在の皆様方にも同じお気持ちにて大切にいただければ有難いと思います。

【羽村市内文化財建造物建築年代】

- ・ 宗禅寺薬師堂 1583年
- ・ 一峰院鐘楼門 1819年頃
- ・ 禅福寺山門 江戸時代中期
- ・ 阿蘇神社本殿 1676年
- ・ 松本神社本殿 1836年
- ・ 五ノ神社本殿 1844年頃
- ・ 稻荷神社本殿 1848年
- ・ 旧下田家住宅 1847年
- ・ 宮川家住宅 19世紀前期

羽村市文化財審議委員会会長

白井裕泰先生

宗禅寺土曜講座

『羽村の古建築―宗禅寺薬師堂について―』より

特別寄稿

宗禅寺の石灯籠

伊藤 友己

宗禅寺庫裏、右脇の庭に大きな石灯籠が二基建っています。第十九世高井俊諦和尚が狭山の地から引き取ってきた灯籠です。

元々は徳川家の菩提寺の一つである、芝の増上寺に営まれた將軍家靈廟に、諸国の大名から献納された灯籠です。

戦後、靈廟はホテル建設のために取り壊され、石灯籠は狭山の地に運ばれ野積みにされていました。西武ドーム建設のため、希望する寺院に配られました。

まず灯籠の棹の部分に刻まれた銘を書き抜いてみます。

手前の灯籠は

「奉獻 石燈籠 兩基

武州

増上寺

惇信院殿

尊前

寶曆十二年辛巳六月十二日

參州岡崎城主

從五位下水野和泉守源忠任」



奥の灯籠は

「奉獻 石燈籠 一基

増上寺

惇信院殿

尊前

寶曆十二年辛巳六月十二日

上野國沼田城主

從五位下美濃守源姓土岐定經」



惇信院は九代將軍徳川家重公の諡（おくりな）で、家重公は寶曆十二年（1762年）六月十二日に逝去され、有章院（七代家継公）廟に合祀されました。

当時、將軍家靈廟に献納する灯籠の種類と基数は大名家の家格によって区別が付けられていました。十万石以上は唐金灯籠、十万石未満は石灯籠で、その内五万石以上は二基、五万石未満は一基と定められていました。

手前の灯籠は銘に「兩基」と刻まれており、三河岡崎城主水野和泉守忠任が献納し

たものです。岡崎藩は六万五千石なので二基献納することが出来ました。因みに対の灯籠は、長野千曲市の生蓮寺で確認されています。

奥の灯籠は、上野沼田城主土岐美濃守定經が献納したもので、沼田藩は三万石ですので一基の献納となりました。

灯籠の大きさ、形は四代將軍家綱の靈廟以降規格化、絵図として各藩に示され、以後灯籠の献納された十一代將軍まで増上寺、寛永寺を問わず同型となります。材質は小松石、根府川石と呼ばれる伊豆堅石で、石切り場から大量に切り出されて、船で江戸に運ばれました。灯籠は、府内の石屋で加工され、逝去からほぼ半年後に、各藩の手で牛に牽かせて靈廟に運び込まれました。

宗禅寺では元々本堂前に建てられました。が、地震の際の檀家様の安全を考え、今の位置に移されました。



「日本人は地名のありがたさが分からず、地名の価値をなおざりにしてきたきらいがある。しかし地名は幾千年幾百年の間、日本人が共に暮らしてきた道連れである」と、民俗学者の谷川健一は『日本の地名』のなかで述べられています。

その「道連れ」である当方が住んでいる「川崎」という地名について考えていきたいと思えます。

川崎という地名は、北海道から沖縄まで各地にありますから、関東地方にかぎり『角川日本地名大辞典』から拾い出してみると、埼玉県では、ふじみ野市(旧上福岡市)、飯能市、羽生市、越谷市、八潮市。栃木県では、足利市、矢板市。茨城県では、常総市(旧水海道市)、つくばみらい市(谷和原村)、水戸市。千葉県では、千葉市、木更津市、山武市(旧成東町)。神奈川県では、川崎市。

以上一四の市で川崎という地名がありません。

江戸時代の村高(土地の生産高)で比較しますと「川崎」に近い村は、八潮市の川崎村でした。しかし、八潮市川崎村では、田んぼがあります。が、「川崎」では畑のみという違いはありました。

川崎という地名がでてくる文献で、平安時代中期の辞書『和名類聚抄』(『和名抄』)に尾張國中島郡川崎郷とあるのが、現在のと

ころ最も古い地名です。

尾張國中島郡川崎郷の地名の由来は、二つの川の合流点や河口部で、流路に沿って長くのびた砂や石が堆積した地形から名づけられたといわれています。先の川崎という地名があった一四の市でも、「川の先、川の突き出たところ」の意に由来するという。川崎というと神奈川県川崎市が有名です。

そこで、川崎市が発行した『やさしい川崎の地名』では、「川崎の『川』は多摩川を指し、『崎』はデルタを意味します。『川崎』という地名の成り立ちは地形の状況からでたものです。」と書かれています。また同書には、「川崎の名が歴史にあらわれるのは平安後期からです。秩父平氏(ちちぶへいし)の出身である『河崎冠者基家(かわさきのかじやもといえ)』がこの地を開拓したと伝えられています。鎌倉初期、勝福寺鐘銘(しょうふくじしようめい)に「河崎庄」の刻みが見られます。古代から中世(鎌倉・室町時代)には、河崎の表記が用いられたようです。」とあります。川崎の字は、古くは「河崎」と書き表していたようです。

以上のように川崎という地名は、その土地の地形から名づけられたところが多いことが分かります。

さて、当方の「川崎」という地名の由来はどこからきたのでしょうか。平成二年に発行された『はむらの歴史』には、次のように書かれています。

川崎は、川のサキ(前、先)で、「川の前の

方」とか、「前方に川のある土地」をいうので、羽村町の川崎は、多摩川に面しています。で、「多摩川の前(サキ)」ということですが、また十五、六世紀のころ、秋川市を中心に小宮領とよばれた地域がありました。その小宮領の北端に位置していたので、秋川市の方からみると、「多摩川の先の方」で、「カワサキ」と呼ばれたともいわれています。

「多摩川の前(サキ)」にあるからとするならば、多摩川流域にある村の地名としてどこにでも残されていてもおかしくはありません。どうも地形からの呼称というには、少し疑問があります。「小宮領の北端に位置していた」はどうでしょうか。

小宮氏は、平安時代後期から鎌倉・室町時代にかけて武蔵国を中心とした武士団、武蔵七党のひとつ西党(にしとう)の一族で、その勢力は秋川流域を含め五九カ村を領していたといわれています。居城は、戸倉城(あきる野市)でした。

この小宮氏からすれば「川崎」は多摩川を越えた先にありますから「川のサキ」という意味から名付けられたと考えるほうがいいのかもれません。

地名は、ここに住んでいた私たちの祖先が名づけた無形の文化遺産であり、命名された当時の社会的環境を物語っています。地名は、その地域の歴史を解明することができる貴重な資料です。

正俊閑栖未完成日記

平成二十九年(2017)年の五月に、

和正和尚の宗禅寺第二十一世住職就任・晋山式を挙行して、私は隠居して閑栖住職となりました。和正和尚の都合で、宗禅寺の代表役員は継続していましたが、ここでその職を辞し、和正和尚が宗禅寺の代表役員・住職となります。晋山式から数えて五年。名実共に和正和尚が、宗禅寺を代表することになります。私は土曜講座など文化的な仕事を継続して、やらせていただきたいと思っています。今年には数えて喜寿を迎えます。とてもいい頃合いと思っています。

コロナも少しずつおさまり、徐々に寺の活動もどりつつあります。今年も、どうぞよろしく願います。

〈九月〉体重は六十一キロ前後です

- 一の付く日の写経の会十五名 9/1
- ミスマ建設 墓地の手すり、アスファルトなど境内整備。便利に。9月初旬
- 土曜坐禅会に十一人。皆さんコロナに慣れて、マスクをつけて坐禅。9/4
- 大船 塩之入内科。AIC6・49/6
- 青梅・玉泉寺晋山式、衆評 9/7

- 写経の会二十人。坐禅会十五人 9/11
- 福生、岡野美蒼展へ。唐組来山 9/12
- 五十嵐誠さんに江戸期曲景修理 9/13
- 三越日本伝統工芸展。五十嵐誠さんの新人賞「箱」を見にゆく。9/15

○津野さん・洪川さん早朝に境内清掃をして下さる。和正和尚四十二歳に。9/16

○護持会の方彼岸掃除。土曜講座(和正和尚・島田秀男・藤井良行)三十五人。禅センターで木彫教室、夜坐禅会。皆さんのお陰で多彩な寺に！ 9/18

○彼岸前の日曜日 お墓掃除の方がたくさん見えました。境内一周除草終 9/19

○彼岸早朝坐禅会 期間中十人程で。彼岸中、一四〇〇人の方が墓参をしてくれました。ありがたく大事なことを。この彼岸を期して、朝七時から三十分の獨坐を始めました。鄭さんも共に。

○頭がくらくらし身体もフラフラ。横田医院に駆け込み、血圧が上がっていた 9/27

○青梅・玉泉寺晋山式・七〇〇年法要。建仁寺管長さん方と晩炊。9/28・29

●九月の来山・墓参の方は合計で二二〇〇人でした。

○西東京臨済会研修 建長寺管長吉田正道老師のお話し拝聴。清岩院にて。夜、水

族館劇場モスラ稽古

○薬師大祭 関係者のみで法要。百万遍数珠回し、水族館劇場「モスラ」演劇。夜、坐禅会十五人。 10/1

○朝粥坐禅会に十四人の参加。渋谷、黒田陶苑にて鈴木都展。夕方、青年会議所の友人町田成司さんの通夜へ 10/3

○寺子屋勉強会 近江屋の北浦さんを招いて近江屋の歴史を拝聴。興つきず。 10/5

○昼間絵馬掛け新調。台は本坊作 10/6

○午前中リアルてらこや。小人大人で三十人。夜坐禅会十五人。 10/9

○アドリア会作品展、銀座。夜は太子堂八幡神社で、和正一家出演の「モスラ」を見る。畑中宮司と親交 10/10

○JC時代の友人川杉さん館さん来山 10/12

○建長寺で鎌倉禅研究会の講演会。秋原北胤さんを長尾総長に紹介 10/14

○土曜講座(和正和尚、秋山一男さん、白井裕泰先生)薬師堂は羽村市最古の建造物との嬉しい報告を受ける。四時半から稲門会の役員会。夜坐禅会。 10/16

○福生JC次年度理事長を励ます会。町田成司さんを偲ぶ黙とう。 10/17

○孫のルリカとカノンの二人が、私の朝のテレビ体操につきあい出す。 10/18

- 牧秀一『希望をにぎりしめて』半藤一利
『人間であることをやめるな』読了。三
木土建、裏の家基礎工事終 10/20
- 鎌倉の仲間と立国でゴルフ。スコアは
散々。寺で懇親会。 10/27
- 横田南嶺『盤珪語録を読む』読了10/28
- 羽村幸子さん五都市憲法の手ぬぐい持
参。四時、父俊諦和尚二十三回忌。永井
フミさん三十三回忌を行う。 10/31
- 十月の来山者は八五〇にんでした。
- 〈十一月〉
- 尺八吹禅の会再開。写経の会 11/1
- 建長寺 山口さんに案内。林温先生とお
父さん(五日市出身)の作品をどうする
か相談。後、なか川で一杯。宮坂さん、
川村夫妻など再会。 11/3
- 寺ヨガ、十時〜十一時に参加。 11/4
- 宗禅寺 講演とモスラ上映「水族館劇場
がやってくるヤアヤアヤア」大島・桃
山・梅山 五十人。朝粥十三人 11/7
- 星野造園五人でボタン二〇本。芍薬百
本、ユリ五十本植え、咲くのが楽しみ。
馬詰眼科へ。眼圧検査、高い。 11/8
- 砂川・流泉寺齋会 清田保南老師と終了
後なごやかな食事会。 11/9
- 淑子さんと日の出モールへ。北海道旅行
の支度。リュック・衣類など。四時から
寺子屋勉強会八人。 11/10

- 鎌倉塾 三橋鎌嶺さんのお話し。点心庵
から去来庵へ。 11/11
- 星野造園 柑橘類四〇本植え 11/12
- 禅センターで新聞サロン。深い。 11/13
- 梅林建工、裏の家増築建前 11/17
- 建長寺で鎌倉禅研究会。彭丹先生、尾崎
正善先生、三十五人。 11/18
- 北海道寺院視察旅行。厚岸(国泰寺な
ど)、釧路(定光寺僧堂他)、根室(北
方四島、ハボマイ・クナシリを眼前に見
る。感無量) 11/19〜21
- いとこの中田規子夫妻来山。青梅玉泉寺
で国泰寺報告。二重桜さんの個展、まゆ
藏、吉川英治記念館 11/23
- 鎌倉常楽寺雪文英師より電話 11/25
- 鎌倉鉢の木で世界平和サミット。円覚
寺、東慶寺拝観、懇親を深める 11/28
- 宗禅寺うどん・そば教室。そば造りに挑
戦。リアルてらこや準備 11/25
- 十一月の来山者はほぼ八百人。
- 朝七時の坐禅も定着。夜七時半に寝て、
朝は三時には起き、午前は労働、午後は
読書、夕方はジョギングの規則的生活も
定着。第二土曜日のリアルてらこやな
ど、寺を使った行事が盛り沢山。二十二
年は春の文化展も再開します。今年もよ
ろしく。

りあるてらこや らいむぎハウス

昨年八月より、宗禅寺を使って子供たちへの
支援活動が始まりました。主催団体はらいむぎ
ハウスといえます。

うちの娘も小学校に通い始め、毎日楽しく通
学していますが、お子さんによっては、不登
校になってしまったり、十分な生活環境を得る
ことができないケースもあるようです。

らいむぎハウスさんはそういった子供たちの
ために、自分が自分らしく過ごせ、素直に自己
肯定ができるような、子供たちの居場所作りを
して下さっています。コロナ禍によって各自治
会館が使用禁止となった時に、お寺を開放して
下さらないかとのご依頼を受け、活動に協力さ
せていただいています。

現在は月一回、毎月第二土曜日午前中にリア
ルてらこや教室を開放し、勉強や遊び、料理な
ど大人と子供が一緒になって、お寺の広いお部
屋を使って、肩ひじ張らずに伸び伸びと一緒の
時間を過ごしています。

ゆくゆくは子供たちにお昼ご飯も食べさせて
上げらればと思っていますが、まずは実際に活
動をしながら得た経験を糧に、徐々に広げてゆ
ければと考えています。また、食べ物やお菓子
のご提供やボランティアとして携わって下さる
方も常時募集しております。ご見学もできます
ので、お気軽にお寺にお越し下さい。

〈問い合わせ〉らいむぎハウス

水野 〇九〇―五五四二―六一五九

メール raimuginhouse2021@gmail.com

和正和尚日單

夏が終わってコロナ感染者が急激に減少。ワクチン接種と夏休みのお出かけが落ち着いたからでしょうか。行楽の秋が訪れましたが、変種も新たに発見され、まだまだ難しい状況下であることに変わりはないようです。

- らいむぎハウス 午前中にリアルてらこやを開催し終わっての反省会。定期的に開催する方向で話しがまとまりました。まずは試験的に毎月第二土曜日午前中に開催することに。 8/28
- 都内 綾子さん大手町大規模接種センターで二回目のワクチン接種。私が車で送迎。9/3
- 西砂町林泉寺 二月にご遷化された山内玄黙和尚さんの一周忌の打ち合わせ。兼務住職の東禅寺さん、寺庭さん、田中さん、島田屋さん。 9/4
- 朝粥坐禅会 秋になりましたが、まだまだ暑さ続いています。 9/5
- 青梅玉泉寺 正俊和尚と玉泉寺さんの開山様七〇〇年忌法要と弘喜和尚の晋山式の事前打ち合わせへ。 9/7
- リアルてらこや ライ麦ハウスさんのリアルてらこや二回目の開催。まだまだ子供たちの参加は少ないですが皆さんの熱

意が凄いです。

9/11

- 北杜市東漸寺 三島時代の修行の仲間、小嶋大啓和尚の父上でもある東漸寺閑栖和尚さんの本葬儀の荷担へ、広徳寺さん福寿寺さんと。三導師という正式で厳格な儀式でした。円覚寺管長さん、京都八幡円福寺僧堂老師、湯島麟祥院老師と三老師がそれぞれはなむけのお言葉でお見送り 9/12、13
- 消防 七月末から休止していた消防の訓練が再開。動物園駐車場で車両積載のライト、投光器など使い方を復習。 9/15
- 誕生日 四二歳になりました 9/16
- 土曜講座 島田文庫長の川崎や羽村の神社についてのお話と、トルコの弦楽器サズ演奏家の藤井良行さんの生演奏。藤井さんは上水地区在住 9/18
- 弔問 宗禅寺の庭木の手入れをして下さっている星野造園さんの先代社長・星野成信さんの弔問を正俊和尚と。告別式開式前にお焼香。 9/22
- 感謝状 福生警察署から宗禅寺に感謝状。オリパラで警察車両が第二駐車場を使用していました。 9/24
- 青梅玉泉寺 大正時代の火災で焼失していた開山像の開眼式に正俊和尚と。青梅の仏師さんの制作。 9/24
- 福生ドコモ バッテリー一日持たないこともあり携帯買い替え。五年八ヶ月使用していたそう。 9/24

○消防墓参り 消防第一分団さんが二年に一度ですが殉職者の方にお塔婆を手向けにお墓参りをしています 9/25

○水族館劇場 晩にお寺で芝居のお稽古。今回はモスラ。ルリカノも出演。セリフと歌を覚えるのは、子供たちのほうが早いですね。 9/26

○青梅玉泉寺 開山太古世源禪師七〇〇回忌法要と北村弘喜和尚晋山式。青梅長淵の玉泉寺さんは開創1319年。多摩地域建長寺派のお寺の中でも、特に歴史が古いお寺です。弘喜和尚は綾子さんと同じ年。これからもお世話になります。 9/28・29

○西東京臨済会研修 清岩院さんにて吉田正道管長のお話しを聞く。講演会前に抗原検査でチェック、陰性 10/1

○水族館劇場 晩にお寺でお稽古。劇中の各人の役割も確認。 10/1

○川崎一本木堂薬師疾病退散祈願法要 毎年薬師大祭を十月第一土曜日に開催していますが、今年もコロナで規模縮小。御詠歌奉詠と薬師堂にて法要。本堂で百万遍数珠回し。そして、水族館劇場の奉納芝居「モスラ」。ルリカノのための演目。境内盛況。 10/2

○通学路旗振り 綾子さんと当番の旗振り。地元では有名な見通しの悪い交差点。親御さんが立つのは週一回のみのよ

- うですが、それでもスピード出しすぎの抑止にはなつてそう。 10/4
- 綾子さん誕生日 ケーキと海老とホタテ。おめでとうございます。 10/5
- 絵馬掛け 梅林さん親子で三社堂の絵馬掛けを新調、設置。古いのは足が寿命。池側に倒れていました。 10/6
- 寺子屋委員会 親戚でもある北浦酒店の北浦久弥翁にお越しいただき、昔のお話しを伺う。北浦さんは滋賀県の近江商人の家系とのことで、昔は醤油の蔵元もされていたそうです。 10/6
- 水族館劇場 晩にお稽古。三軒茶屋の太子堂神社での公演に向けて 10/8
- 消防 車庫で役員会。活動休止明けという事で、本部の方針と年内の予定を確認。 10/8
- リアルてらこや らい麦ハウスさん。三回目。ルリカノも参加してるが、花音は勉強を教えてもらっていると言うより、答えを教えてもらっているという感じのようです。 10/9
- 三軒茶屋・太子堂八幡神社 神社の例大祭にて水族館の芝居を奉納。初めてのアウエー芝居、二日間。お祭りはコロナでお神輿中止も、境内は露店と人々で大賑わい。拝殿でのお参りと獅子舞に列。地元地域にしっかり根付いているお祭りでした 10/9・10

- 日野・明星大学 人文学部日本文化学科の一年生百人に坐禅体験の授業。三十分ほど講義してから坐禅体験。昨年はオンラインで行いましたが、今年は大学教室で対面にて実施。 10/11
- 火災 機械の誤作動……丁度一週間前の同じ月曜日に同じ施設に自動したばかり……。特定施設の機械鳴ったら消防署が自動的に出動するこのシステム何とかならないものか…… 10/11
- 池袋 宗禅寺で一部撮影された秋原北胤監督の映画『文禄三年三月八日』を綾子さんと観覧。主演は松平健さん。松健さん、実は宗禅寺に撮影で来てました。観覧後に舞台挨拶。 10/13
- 消防 動物園駐車場で水出し訓練。ただし、消防車メンテナンスに出るため、可搬ポンプ使用。 10/14
- 書道教室 毎月一回密かに和尚さんが宗禅寺で書道のお稽古をしています。 10/15
- 土曜講座 秋山一男さんの神明神社改修工事にまつわるお話しと、羽村文化財審議委員会会長・白井裕泰先生の宗禅寺の薬師堂にまつわるお話し。宗禅寺にある薬師堂が羽村市内で一番古い建造物であると言っても差し支えないことが確定致しました。 10/16
- 健診 羽村の保健センターで町の健診を

- 受診。保健センターのほうが待たずに受診でき便利ですね。 10/17
- 通学路旗降り 近所の方に替わって朝の旗振り。お仕事の関係等で旗振り当番できない方もけっこういらっしゃるんじゃないかと思えます。 10/18
- 日野明星大学 先週に引き続き日本文化学科一年生に坐禅体験授業。大学の図書館を見学しようと思つたら、コロナで学外の方の立ち入り禁止とのこと。残念。学食も昔のイメージと違ってモダン。学生さん、やはり多摩地域出身の子が多いですね。 10/18
- こどもかけこみ110番 PTAからステッカーが届く。不審者に出会ってしまった児童が逃げ込める場所が分かるように付けるもの。お寺は広いから多めにいただきます。何かあつたらいつでもお寺に来てね。 10/18
- 御朱印 半日御朱印書き。御朱印をいただくに來られる方がちよくちよくいらつしゃいます。私が不在時用の書き置きをストックがなくなりそうなため、書いて補充。 10/19
- 三島 龍沢僧堂雪安居入制。後藤榮山老師の提唱拝講。 10/20
- 運動会延期 児童で感染者が出てしまったため、運動会が延期に。遠足も延期。感染者減つてますが、コロナとの生活は

- これからも。 10/23
- 振替休日 運動会延期でも振替休日は予定通り。横浜でアスレチック。バランスとるのに全身使う。 10/25
- インフルエンザ 松原内科さん。みんなです。予防接種。子供たちは二回打つそうです。 10/28
- 宗禅寺 俊諦和尚二十三回忌、十七世和尚ご息女永井フミさん三十三回忌法要を。親族、総代さん、薬師講、御詠歌の皆様と。谷中のお煎餅 10/31
- 三島龍沢寺 来年二月に行う、西砂林泉寺玄黙和尚の一周忌導師のお願いにあがる。廣徳寺さん、東禅寺さん、寺庭さん、田中さん五名で。 11/1
- 福生第四小学校 福生の二年生五名がが校外活動でお寺を見学に。『えがおのひみつたんけんたい』。お寺の仕事について事前に質問をいただいています。お寺と薬師堂を案内。ちよと坐禅。最後は山門上で鐘撞き。何方所か行く場所を選べたらしく、お寺に来てよかった!!と、言ってくれました。その一言が嬉しいです 11/4
- 芋掘り ルリカノが小学校でお芋掘り。総代さんの中村勝司さんの畑で。スイートポテトになりました 11/4
- 本山法話大会 今回のテーマは元気になる法話。「鳥鳴いて山更に幽なり」でコロナ禍でも良かったことをお話し。 11/6
- 水族館劇場イベント 午後から宗禅寺でイベント。モスラ上映、サーカス学の第一人者大島幹雄先生の講演、座談会。内容濃い三時間。 11/7
- 砂川流泉寺 正俊和尚、淑子母と先住和尚さんの三回忌法要へ。 11/9
- 寺子屋委員会 北浦久弥さんのお話しを受けて、島田文庫長が近江商人について調べて下さいました。来春の春の文化展も開催の方向で話しがまとまる。 11/10
- 火災 深夜に火災、全焼。秋の火災予防運動真っ只中でしたが： 11/10
- 星野造園 続々と境内の樹木が搬入、植え込み。 11/12
- 山梨棲雲寺 棲雲寺で宝物風入れと法話のイベント。法話は茶席の禅語。禅の妙味を法話に。行き帰りの中央自動車道の渋滞が凄い。行楽の秋が戻ったか。渋滞回避で高尾山から一般道で山梨へ。 11/13
- 東小学校運動会 ということで、山梨での法話のため、運動会には行けず……残念。ルリカノ小学校入って初めての運動会。楽しめたかな？ 11/13
- うどん教室 お寺でのうどん教室が再開。 11/18
- 本山布教師会 布教師会で会議と研修。来年度の土曜法話の当番決め、法話大会のテーマ、諸々会議。会議後に研修。今回はズームで出席 11/19
- 東小学校 消防団で三年生に授業をします。「暮らしを守る」。夕刻に学校で先生方と打ち合わせ。 11/19
- 土曜講座 水村左官屋さんと都議・田村利光先生。水村さん中国で技術指導をした際のお話しも。田村さんはNPOにしたまの代表でもあります。西多摩の課題と魅力についてお話しして下さいました。 11/20
- 西東京臨済会 雨間地藏院で幹事会。コロナでお休みしていた歳末助け合い托鉢を行うことに。新年総会についても開催可否か協議。 11/22
- クリスマスローズ 親戚の春日部中田さんがたくさん持ってきて下さりました。父母と一緒に青梅を案内。吉川英治記念館、繭蔵、玉泉寺。 11/23
- インフルエンザ ルリカノ二回目の接種。まだまだ注射は怖いようでお付き添い。 11/25
- 小学校作品展 綾子さんと全校児童による作品展覧会へ。コロナのためか、家族二人まで、時間が割り当てられての観覧。 11/27
- サズとベリィダンス 土曜講座にお越しいただいた藤井良行さんの演奏会。大阪からダンサーさんとトルコ人の演奏家さん三名で。トルコの音楽に合わせて、ベリィダンス披露。 11/27
- 振替休日 展覧会の振替休日。ルリカノと六道山公園へ行く。 11/29

土曜講座のお知らせ

地元羽村を中心に西多摩の文化や暮らしがテーマです。普段住んでいる町の豊かさの再発見へ。お茶代として三百円お願い致します。

◆第六十二回 一月二十日(土)十三時～十六時 仏教講座 日本仏教史・室町時代 「京都で華やぐ禅文化」 住職 高井 和正

羽村市動物公園のキリンの出産について 園長 佐藤 新吾先生 飼育員 磯部 雅和先生

神社と祭祀について 三軒茶屋 太子堂八幡神社 宮司 畑中一彦先生

◆第六十三回 二月十二日(土)十三時～十六時 仏教講座 日本仏教史・室町時代 「みんなも知ってる一休さん」 住職 高井 和正

「お釈迦様の涅槃によせて二月十五日釈迦涅槃」 五ノ神 太田さんファミリーによる

五日市の画家 父・林心耳を語る 慶應大学名誉教授 林 温 先生

◆第六十四回 三月十二日(土)十三時～十六時 仏教講座 日本仏教史・室町時代 「一向一揆と宗教戦争」 住職 高井 和正

西多摩の石碑・石仏 羽村郷土研究会 岡崎 学先生

西多摩の魅力と課題 東京都議会議員 清水 康子先生 ◆第六十五回 四月二十三日(土)十三時～十六時 仏教講座 日本仏教史・室町時代

「戦国武将と仏教」

住職 高井 和正

中里介山を語るその6 宗禅寺文庫長 島田 秀男 先生

中里介山『大菩薩峠』から 講談「お浜殺し」 講談師 菊地 玉雲 師

鎌倉禅研究会のお知らせ

元気に継続中です。建長寺入山料五〇〇円、資料代五〇〇円。予約不要です。

◆第六十九回 一月二十七日(木)会場 円覚寺 盤珪禅師と中国禅 駒沢大学教授 小川 隆 先生

今こそ盤珪禅師に学ぶ、生誕四百にあたって、円覚寺派管長 横田 南嶺 老師

◆第七十回 二月十七日(木)会場 建長寺 建長寺四世大休正念の語録を読む 法政大学講師 建長寺研究員 彭丹 先生

鎌倉時代の禅僧と坐禅 元金沢文庫長 高橋 秀栄 先生

◆第七十一回 三月十七日(木)会場 建長寺 禅と鎌倉 禅文化の歴史を踏まえて、駒沢大学講師 館 隆志 先生

中世鎌倉の禅院・律院と雲版 法政大学助教授 大塚 紀弘 先生

◆第七十二回 四月十四日(木)会場 建長寺 鎌倉の禅宗と弁財天 長谷寺観音ミュージアム主席学芸員 三浦 浩樹 先生

鎌倉殿と仏師・仏像 鎌倉宝物館新館長 山本 勉 先生

※時間はいずれも午後一時～四時半になります。

宗禅寺毎月の活動

- 朝粥坐禅会…… 毎月第一日曜日 朝6時～8時半 禅の食事の作法でお粥をいただきます。禅の作法は黙食です。1/9 2/6 3/6 4/3 ※正月は第二日曜日に開催致します。
- 土曜坐禅会…… 毎週土曜日 子供:18時～19時 大人:19時半～20時半 繰り返しの腹式呼吸。深い呼吸でココロも安定。 ※正月元旦はお休み。8日から始まります。
- 土曜講座…… 毎月1回の公開講座。13時～16時 地域文化と財産の再発見。いまある世界をより豊かに感じるために。
- 写経会…… 毎月1日、11日、21日、13時～15時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。自分のペースで一文字一文字丁寧に。 ※正月元旦はお休み。11日より始まります。
- 御詠歌…… 毎月第1・3火曜日 1時半～3時 指導:高井淑子
- 手打うどん教室…… 現在2クラス開講中。月一回。講師:島田辰夫先生
- いきいきヨガ…… 毎月第1、第3木曜日 10時～11時 予約不要 ¥500 大きめのバスタオル要持参 講師:園部多恵子さん <https://www.instagram.com/tae.yoga/>
- リアルてらこや…… 第二土曜日 9時～12時 予約・問い合わせ 水野 090-5542-6159 raimugihouse2021@gmail.com
- 木彫教室…… 毎月第1・第3土曜日 13時～16時まで 講師:新井達矢先生 見学できます仏像や能面を自分で彫ってみませんか? 月謝5000円(道具、材料費は別途) 新井達矢先生ブログ:<https://ameblo.jp/tapazya-1982/>
- 俳句教室…… 毎月1回、適宜。問い合わせ先:中野つたえ ☎554-2444
- 尺八吹禅の会…… 毎月第1、第3日曜 夜7時半～9時 坐禅15分、練習60分、問い合せ:坂井陵重 ☎554-3273
- 介護予防体操…… 健康体操の集いです。直接、禅センターにお越し下さい毎週金曜日 14時～16時
- お寺deこころの檻…… タロットによる心理セラピーです ハムサまで 毎週日曜日13時～18時 要予約 090-6792-4784
- 新聞サロン…… 毎月第2、第4土曜日13時～14時 新聞を楽しく読んで世界を広げよう。活字から読む力。お子様の参加大歓迎です。要予約 090-6549-0751 講師:鹿野川喜代美さん ☎042-554-7343 まで
- 女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 一活動中ですー ○宗禅寺禅センターをお使い下さい。
- 各教室の会場: ●は宗禅寺 ○は禅センターです